

# Feng-Shui Gallery

special edition vol.91

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

## 『色彩による空間イメージの変化』

～色彩の違いによる空間イメージの変化～

<写真1>紫と黄色の色彩で構成された居室。すっきりとした明るいイメージの空間となっており、紫色を使用していることで寝室としての利用も適しています。一方、薄緑とピンクベージュの色彩で構成された空間は、温もりを感じる優しいイメージの空間で、ピンクベージュの色彩が心身のバランスを整えてくれます。

<写真2>壁がクリーム色の単色で構成されたダイニングルーム。ナチュラルな雰囲気ですっきりとした印象の空間です。この空間の壁の一部をアクセントでオレンジ色にすることで、室内の気を高め、より家族団欒に適した空間にすることが可能です。床を少し明るくすることで、よりオレンジ色のアクセント壁が映えるデザインとなっています。<写真3>オレンジ色のアクセント壁と、シックな色合いの張り地を施した椅子がレイアウトされたダイニングルームは、落ち着いた雰囲気の空間に構成されています。オレンジ色のアクセント壁と椅子の張り地を明るいパステルグリーンに変えることで、若々しく明るい空間イメージに大きく変わります。グリーン系統の色彩は、健康や癒しなどを感じさせ、爽やかな空間イメージをもたらしてくれます。



<1>居室1(薄緑/ピンクベージュ)



<2>ダイニング1(クリーム色/オレンジ)



<2>ダイニング1(クリーム色)



<1>居室1(紫/黄色)



<3>ダイニング2(パステルグリーン/パステルイエロー)



<3>ダイニング2(オレンジ/ベージュ)

人間の五感による知覚の割合は、視覚が7～8割とも言われており  
色彩情報が脳に与える影響は多大です。

空間を構成する色彩によって  
空間イメージがどのように変化するかを知ることは  
心地よい空間をデザインする上で  
とても重要な要素と言えます。